

上田市立長小学校 令和4年度 学校教育グランドデザイン

学校目標具現に向けての教職員

- 1 信頼関係を築き、同僚性を高める
- 2 人権感覚を磨く努力をしていく
- 3 安全教育の徹底を図る
- 4 地域とともに開かれた学校にしていく
- 5 実践研究の充実を図る

地域の願い

- ＜校名の変遷＞にみる地域の願い
- 「養正学校」正しい心を養ってほしい
- 「成始学校」始めの志を成し遂げてほしい
- 「水哉学校」原泉は混混としてやむことがない
- ◇ 少人数の良さをいかした異年齢交流
 - ◇ 地域や豊かな自然をいかした教育活動
 - ◇ コミュニケーション力の育成
 - ◇ 一人一人に目が行き届く小規模校の教育

学校目標

かしこく きよく たくましく

〈めざす子どもの姿〉

- ◎ 自分をふりかえり よく考える子 「かしこく」
- ◎ ともだちとかかわり 思いやりのある子 「きよく」
- ◎ すずんで取り組む ねばり強い子 「たくましく」

重点目標

①よく考える力の育成

②相手に伝える力の育成

聴く・読む活動の充実

相手意識の醸成（誰に・何を）

一人ひとりが安心して学ぶ授業

- ◎ 「わかった」「なぜ」つぶやきのある授業
 - ・まとめから課題を設定
 - ・言語活動の重視→小グループの話し合い→全体へ
 - ・考える場・学びの場の工夫
 - ・一人ひとりに合った個別指導の場の工夫と充実
 - ・振り返りの場の位置づけ
- ◇ 授業評価からフィードバックした授業づくり
- ◇ 一人一公開授業からの学び合い
- ◇ 5月のNRTテストと12月CRTテストにより学力定着の見極め
- ◇ 専門教科の講師から学ぶ
- ◎ 体験活動の充実
- ◎ 自主学習の充実
- ◎ ICTの活用

一人ひとり居場所のある学級

- ◎ 自分らしさが発揮できる学級
- ◎ 良さを認め合う学級
 - ・考えを伝えあい自主的な活動としての学級活動の工夫
 - ・一人一人を「さん」づけで呼ぶ。
- ◇ 年2回のQ-U検査の実施と職員研修。児童の困り感や学級の実態を把握し対応を考える。
- ◇ 人権教育研修の実施
- ◇ 年3回の仲よしアンケートと相談週間の実施
- ◇ 児童会活動の充実
 - ・仲よし学級の交流
 - ・福祉施設との交流
 - ・各種集会
 - ・挨拶運動
- ◇ オンラインで繋がる

一人ひとりに応じた支援

＜地域と共に育てる＞ 長っ子コミュニティスクール

「長っ子応援隊」「長っ子見守り隊」 登下校の見守り 「ほこほコネクト」 米作り活動支援
 読み聞かせボランティア 環境ボランティア 学習ボランティア 真田中央公民館 自治会連合会長
 長寿会 やまぼうし自然学校

- ◎ 特色ある教育活動
 - 全校での栽培活動（畑・花壇・田）
 - 地域教材学習 ・長の歴史（長谷寺 山家神社 角間溪谷） ・全校登山
 - 地域伝統行事 ・地域講師の活用 地域伝統行事（戸沢のねじ）